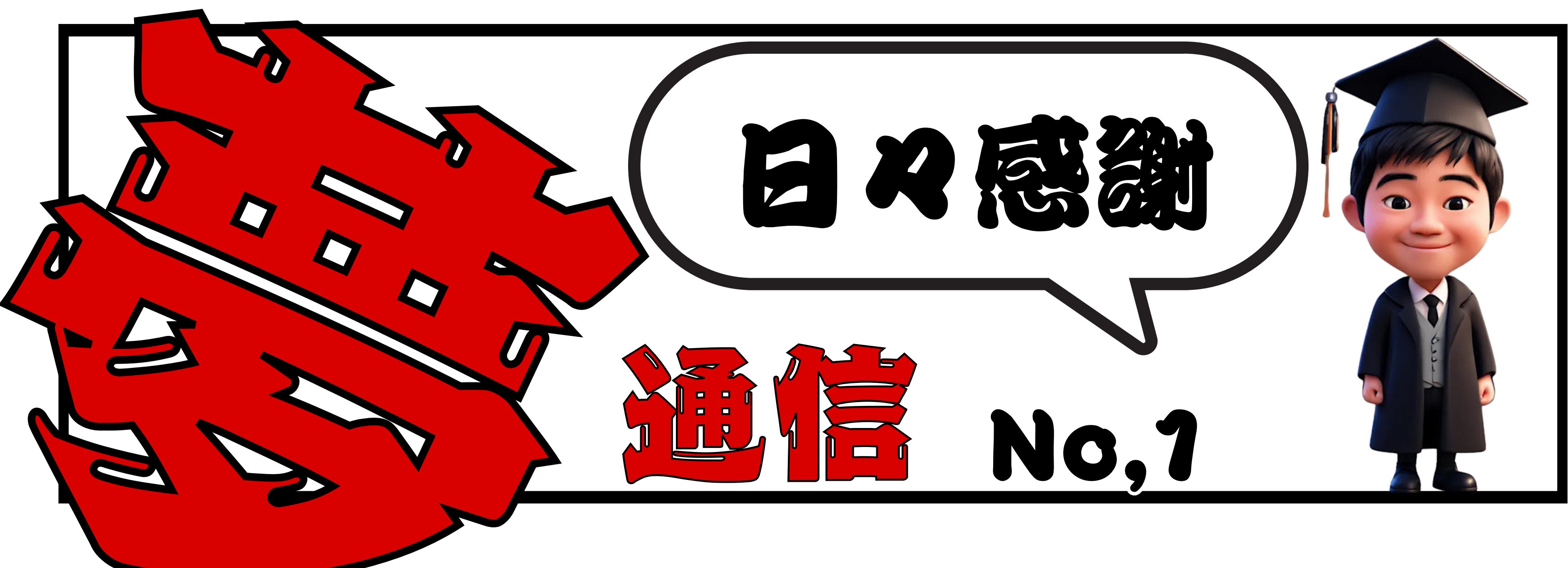




通信 No.1

～「めあて」ってどう設定する？～

みなさん、入学式や学級開き、NRTや仮入部・・・行きつく暇もないまま授業に突入しました。
ほんっっっっとお疲れ様です。

さて、みなさんには研究テーマ説明の際に「めあて」の提示をしてください、と話しました。しかし、「めあて」とはどのように考え、設定すればよいのでしょうか？

今一度「めあて」とは何か考えてみましょう。

実は「めあて」って3種類あんねん♪

- ①技能型・・・「～をする（できる）」
例）現在進行形を使って英文を書くことができる
- ②知識型・・・「～を知る」
例）オセアニア州の自然地形や文化を知る
- ③理解型・・・「～を説明する」
例）日本付近の天気の変化について説明しよう

授業の逆向き設計

- ① この単元（授業）を通して、どんな力を身につけさせる（どんなことができてほしいか）考える
↓
- ② 『①身につけた力』をどのように確認（評価）するか、考える（テスト？説明？パフォーマンス？記述？）
↓
- ③ 『②どのように評価するか』に基づいて、めあてを設定する（技能型？知識型？理解型？）

②で「振り返り」方法を考えて、③で「めあて」を考えるってことね！



そゆこと！まずは授業者がゴールを見据えて、生徒にもゴールをイメージできるように明確な（具体的な）「めあて」を設定するんだよ！

でも、明確な（具体的な）「めあて」ってどんな文や表現がいいんだろう。。。。

No.2へ続く（明確な『めあて』って？）